



人・つなぐ・防災



SEEDS Asia (2006-2016)

SEEDS Asia の目指すもの



世界の災害の 40%は、**アジア**で発生しています。

世界の災害による死者の 60%は、**アジア**の人々です。

世界の災害被災者の 90%は、**アジア**に集中しています。

日本を含めたアジア地域は、幾度となく災害の被害を受け、その度に人命や財産、それまで築き上げてきた街や、つながりを失ってきました。


中でも、アジアの開発途上国においては、急速な都市化による人口過密や地球温暖化に伴う気候変動によって、災害が頻発化し、またその被害が激甚化しています。

SEEDS Asia の目指すもの。それは、日本やアジアにおいて、**子どもや人々が災害による被害から身を守れるようにすること。そして、災害に負けない持続可能な社会をつくること**です。

この実現のため、防災を単発のイベントで終わらせるのではなく、文化として地域に根付かせるための、様々なアプローチをもって SEEDS Asia ならではの防災支援を展開しています。

目次

1. 設立 10 周年を迎えるにあたって	1
2. SEEDS Asia のアプローチ	3
1) 緊急支援	5
2) 人づくり	7
3) 体制・計画・ツールづくり	9
4) つながりづくり	11
5) 普及・啓発活動	13
6) 調査・研究・政策提言	15
3. SEEDS Asia 10 年のあゆみ	17
4. 出版物リスト	19
5. カウンターパート及び協力団体のリスト	23
6. SEEDS Asia の概要	27
7. 数字で見る SEEDS Asia の 10 年	28



1. 設立 10 周年を迎えるにあたって



急速な開発と自然災害が多発するホットスポット。それが過去 30 年間のアジアの姿でした。経済開発はアジアに様々な恩恵をもたらしましたが、その一方で、急激で無計画な都市化、地方から都市への人口流入、インフラと財の都市への集中を産み出し、気候変動の影響と相まって、新たなリスクを増大させ

ています。私たちは今、これまで経験したことのない災害リスクに直面しています。そして、私たちを取り巻く環境は自然災害の影響でますます脆弱になっています。

災害リスクを軽減する「減災」。減災の成功のカギとなるのは、コミュニティとそこに暮らす市民です。もちろん政府も減災のために投資をする政策をとることでしょう。しかし、ほとんどの国では、その政策が通るかどうかは市民の代表である議員に委ねられているのです。災害リスク情報がきちんと公開され、そのリスクを知って起こるかもしれない災害に備えるコミュニティが、持続可能な経済社会の開発の達成、そして災害リスク軽減のカギとなるのです。

SEEDS Asia は、防災・減災のプロセスの中で、コミュニティの参加とエンパワーメントを大きな目標の一つとし、活動してきました。10 年というのは、どの団体にとっても節目の年です。SEEDS Asia は、1994 年にインドで設立された SEEDS のグループ団体として、2006 年に神戸で誕生しました。そして、国及び地方政府、国連を始めとする国際機関、大学などの研究機関、市民団体、民間セクター、メディアなど、様々な関係者と連携して、防災に取り組んできました。現地の関係者との話し合いや協働を大切に、防災の担い手づくり、教育、意識啓発を実施しています。また、2011

年の東日本大震災をはじめとする災害後の復興にも取り組んできました。現地の人々と共に学び、一緒に災害対応の解決策を作り上げていく中で、新しい防災教育、学校や地域の防災プログラムが生まれました。SEEDS Asia のいくつかの事業は、アジアの国々や日本の地方自治体によって制度化され、今後の活動の持続性が確保されています。そして、そのような取り組みが、今後、他の地域に広く展開する良いモデルとなることが期待されています。

この10年間、SEEDS Asia は、神戸市、兵庫県、その他日本やアジアの様々なパートナーから多くのご支援をいただいて活動して参りました。パートナーの皆様との連携から多くを学び、それが私たちの強みでもあります。これまで私たちの活動を支えてくださった皆様に心より感謝を申し上げます。またこれまで、国連機関をはじめとする国際機関、国際・国内 NGO、企業、大学・研究機関など、個人の方々を含めて様々な支援をいただき、共に災害に負けないコミュニティづくりに貢献することができました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

防災・減災には終わりがありません。私たちの活動は始まったばかりです。「一人で走るなら、早く走りなさい。しかし共に走るのなら、ゆっくりと行きなさい。」というアジアの言葉があります。SEEDS Asia は、パートナーや関係者の皆様と共に今後も防災の道をゆっくりと進んでいきたいと考えております。防災の世界に、小さな、しかし革新的な一歩と変化をもたらせるよう、これからも邁進していきたいと存じます。今後ともより一層のご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

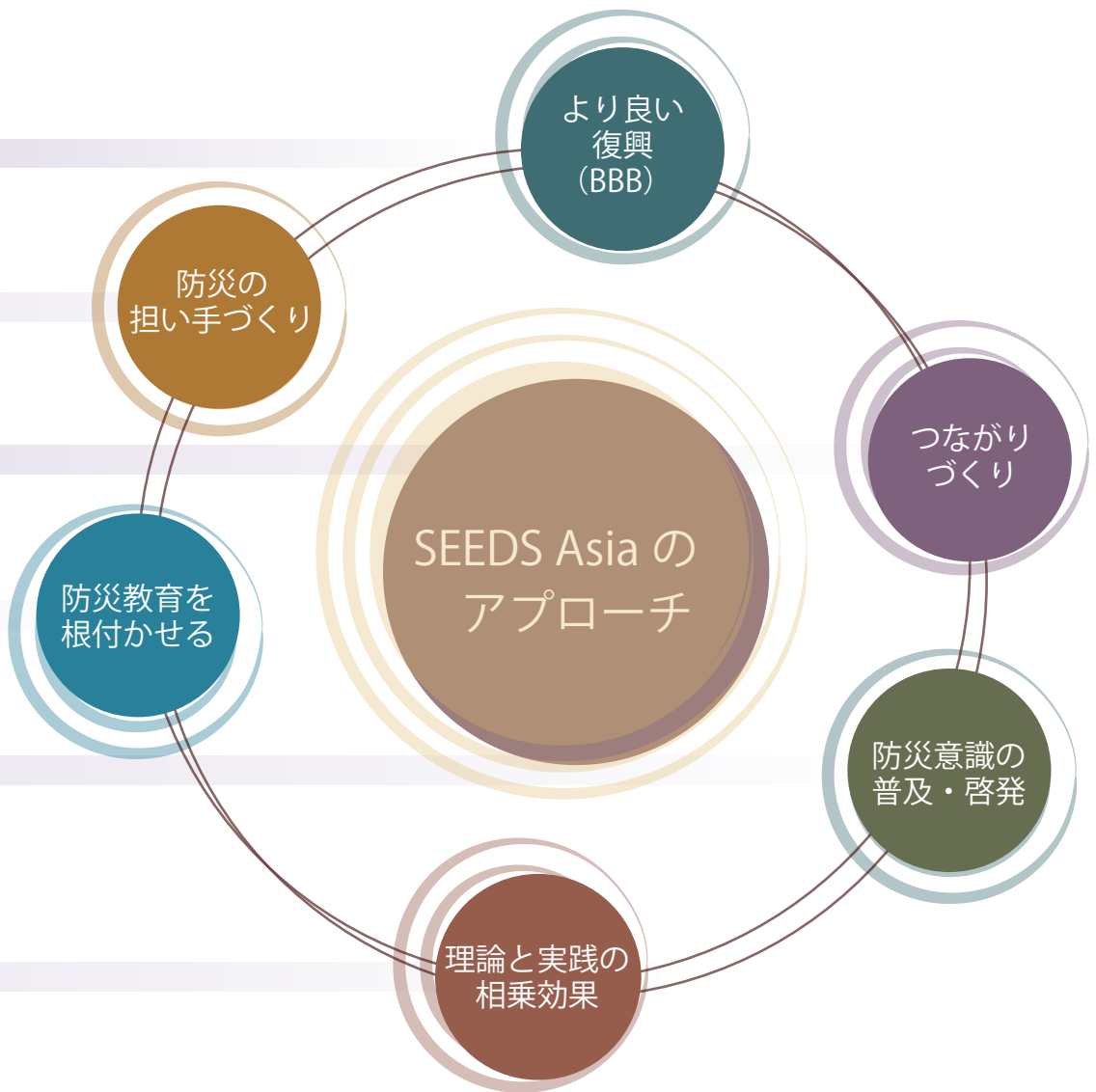
2017年1月
特定非営利活動法人 SEEDS Asia
理事長 ショウ ラジブ



2. SEEDS Asia のアプローチ

1. 「より良い復興*」が実現されるよう、復興を見据えた緊急支援を実施します。
2. 現地のニーズや状況を踏まえ、行政、学校、地域、メディアなどあらゆる主体を対象にした防災の担い手づくりを実施します。
3. 防災の主流化を促すため、環境、教育、文化、福祉など、あらゆる分野で活動する団体とのつながりをもって活動します。
4. 現地のシステムを尊重し、持続可能な開発のための教育 (ESD) をベースにした防災教育の体制、計画、ツールづくりを支援します。
5. 災害の教訓を被災地内外や次世代につなげられよう、防災意識の普及・啓発に取り組みます。
6. 防災の国際的な政策や基準、研究成果を踏まえた裨益効果の高い防災支援と、その成果を研究やネットワークに還元して災害に負けない社会づくりの政策提言につなげます。

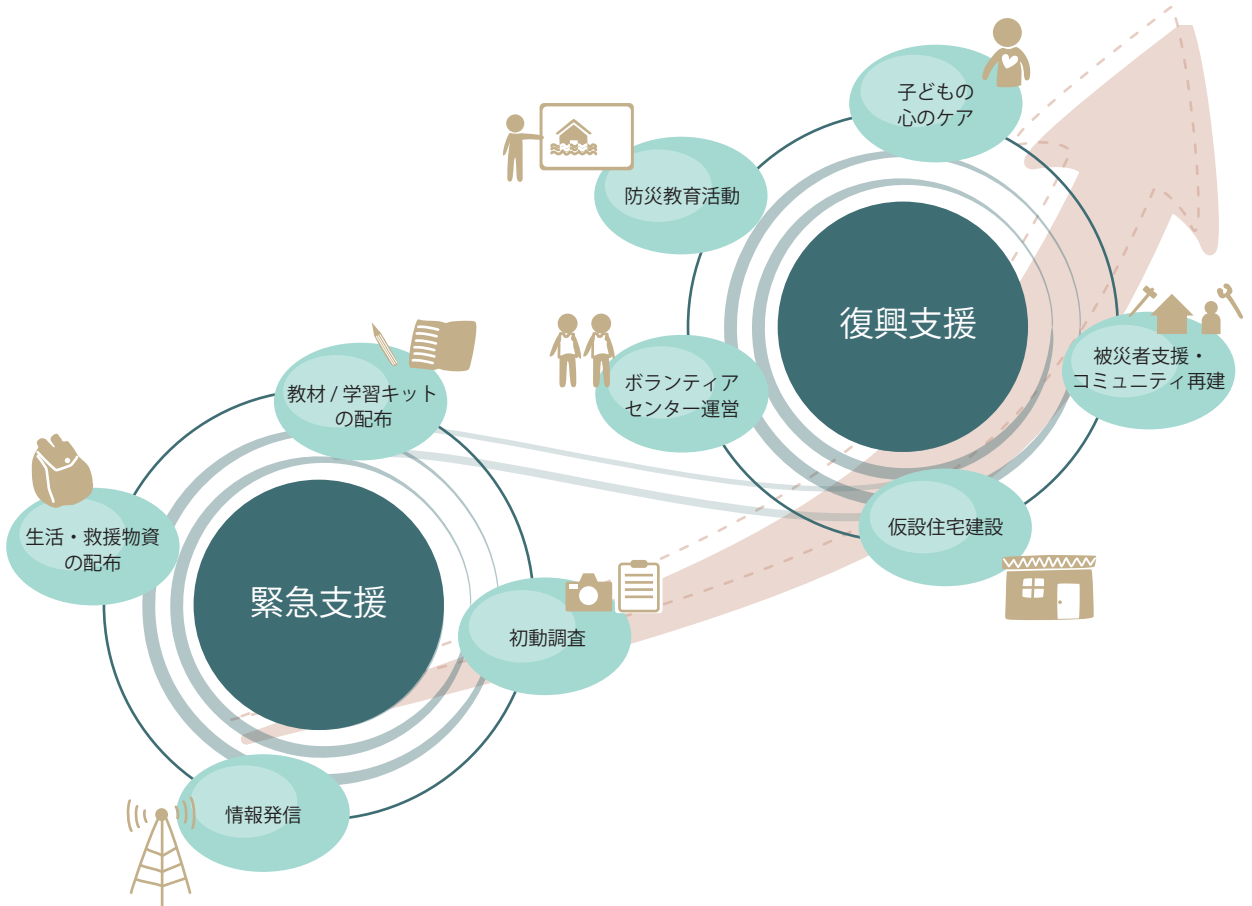
* より良い復興 (Build Back Better、BBB)：被災地を従前の状態に戻すだけでなく、さらにより良い状態にすること。



1) 緊急支援



よりよい復興の実現に向けた
緊急支援を



SEEDS Asia が行う緊急支援では、一時的な物資提供のみで終わらせるのではなく、復興プロセスの各段階に応じた支援活動を展開するとともに、人道支援の国際基準*を遵守して活動しています。

海外では、命を救うための救援物資や生活物資の提供、早期の教育再開を目指した教材の配布などを実施しました。また、災害時の混乱している現場で、円滑な緊急支援が行えるようボランティアや関係機関の調整を担いました。これらの緊急支援活動は、その後、被災地の復興支援として、防災教育や仮設住宅建設などに必要な人材育成プロジェクトへと発展させています。

国内では、東日本大震災の時に、海外で不足していた被害状況に関する情報を英語で発信をしました。また、東北や熊本では、現地の自立的な復興を目指し、孤立化を防ぐためのコミュニティづくりを行う地域団体の運営サポートも行っています。

*スフィア基準、CHS（人道支援の質と説明責任に関する必須基準）



ネパール地震、救援物資を運ぶトラック
(ネパール、2015年5月)



ミャンマー・ラプタ大火災
学校での教材配布 (ミャンマー、2015年2月)



熊本地震時の初動調査 (熊本、2016年5月)

受益者の声



教員
マリンジン小学校
(フィリピン、2014年3月)

“台風ヨランダ後、SEEDS Asia が訪問するまで、私達の学校には全く支援の訪問はなく、校長も台風の悲しみで連日のように泣いていました。今、彼女は、このような支援を受けて、嬉し涙を流しています。もう彼女が泣くことはないと思います。”

“地震ですべてを失いましたが、あなたたちが来てくれて、本当に助かりました。このご支援のおかげで生活ができます。”

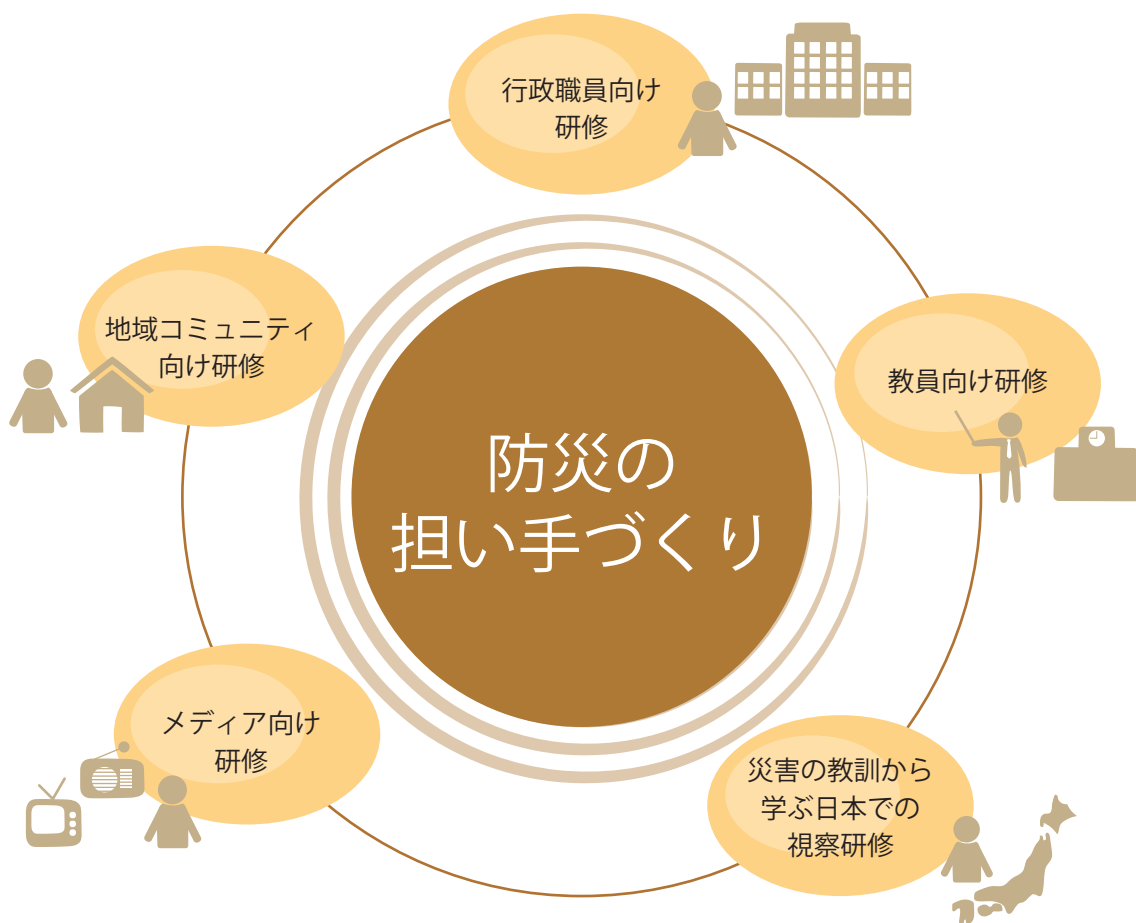


ダンマヤ・バラバティさん
(ネパール、2015年5月)

2) 人づくり



現地のニーズや状況に応じた
防災の担い手づくりを



阪神・淡路大震災を通じて、私たちが教訓として忘れてはならないことは、自分の命は自分で守ること（自助）、そして普段から家族や隣近所で助け合うこと（共助）の重要性でした。

防災の基本である自助や共助のチカラを育み、文化として根付かせるためには、その「担い手づくり」が必要です。そこで SEEDS Asia は、最初に行政職員、教員、自治会など地域の中心メンバーを対象に、指導者となるための養成トレーニングを行い、そのトレーニングを受けた人が子どもや地域住民に対して防災トレーニングを行う「ToT 方式」を採用することで、持続的な人材育成を展開しています。災害の仕組みなど、基本的な防災に関わる講座だけでなく、日本から専門家を派遣することで実践的な技術や知識の向上を含めた、包括的な能力向上を図り、現地協働団体と協力することで、その土地や対象に合わせた研修内容を提案しています。



メディア向けの防災情報伝達トレーニング
(モルディブ、2009年3月)



兵庫県教育委員会から EARTH などの専門家を派遣し、共同で事業を実施
(フィリピン、2016年11月)



東日本大震災の教訓や経験を国内外で共有し、「よりよい復興」に向けた研修を実施
(ミャンマー、2015年11月)

受益者の声

“日本の災害の教訓や経験から学ぶだけでなく、実践的に、まちあるきや緊急持ち出し袋、応急処置などについて学びました。非常に有意義であり、是非子ども達や住民と実施したいと思います。”



レ・ティ・リ・ゴックさん
クアンナム省タムキー市
教育訓練局 職員
(ベトナム、2014年6月)

ウー・チールインさん
ミャンマー工学会
中央委員会メンバー
(ミャンマー、2012年11月)

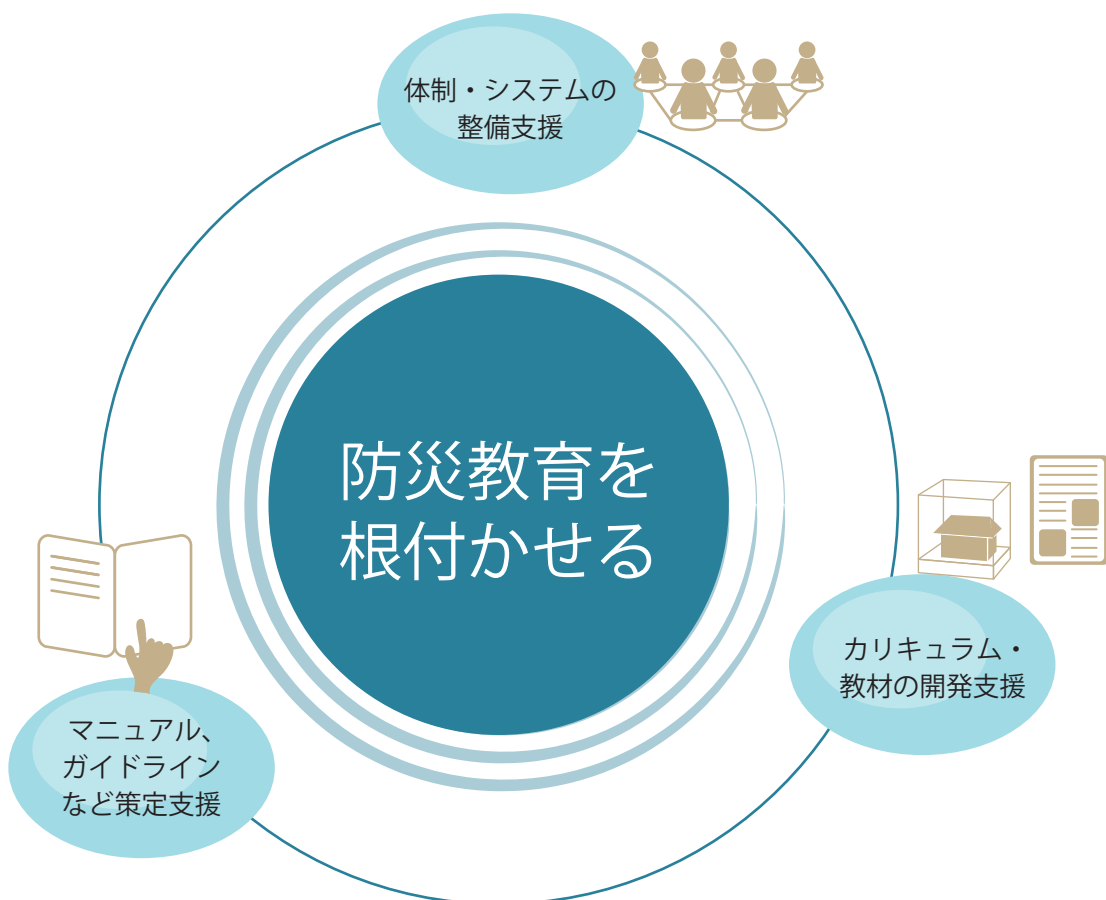


“SEEDS Asia の本邦研修に参加し、まだ瓦礫が残る東日本大震災の被災地や、海拔ゼロメートル地帯の輪中地域、阪神・淡路大震災を経験した神戸市を訪問しました(2012年)。最も興味深かったことは、学校教育だけでなく、石碑やミュージアムなどを通じて、日本が災害の教訓を次世代に伝えようとしていることです。私が受け持っている若手エンジニア向けの研修で、この研修で学んだことをいつも紹介し、防災の重要性を伝えています。”

3) 体制・計画・ツールづくり



現地の文化とシステムを尊重した
持続可能な防災教育を



防災活動を着実に進め、定着させるには、活動を実施するための計画と持続的に実施していくための体制づくりが鍵となります。そして、それらは現地の人たちと共に作り上げるものでなくてはなりません。

SEEDS Asia は学校とコミュニティにアプローチし、持続可能な開発のための教育 (ESD) に基づき、現地の文化やシステムを尊重した防災教育の体制、ツールの開発を支援しています。

例えば、学校教育に防災活動を取り入れる際には、現地の教育行政職員と話し合い、防災という概念を既存の教育システムに融合する形で導入することを提案し、効果的な教材づくりに取り組みます。その結果、他の授業を阻害することなく防災授業が展開されることが期待できます。

同様にコミュニティに関しても、地域の人々と話し合いを重ね、地域資源を活かした防災活動を現地と協働で展開しています。例えば、災害時の避難や対応が円滑に行われるよう、避難訓練マニュアルの策定などのサポートを実施しました。



フィリピン教育省職員と共に防災教育導入のガイドラインづくり(フィリピン、2015年8月)



防災教育ツールである防災ゲームをする子ども達(ベトナム、2015年3月)



防災教育ツールキットの配布と説明(ミャンマー、2015年9月)

受益者の声

“防災要素を各学年の教科カリキュラムに入れ込むことで、学校の児童や生徒だけでなく、教員や保護者、地域の方々にも備えの重要性を伝え、意識啓発していくことができるとわかりました。”



ジェラルド・マントスさん
フィリピン教育省
(フィリピン、2015年8月)

グエン・ミン・フンさん
ベトナム・ダナン市教育
訓練局 副局長
(ベトナム、2013年8月)

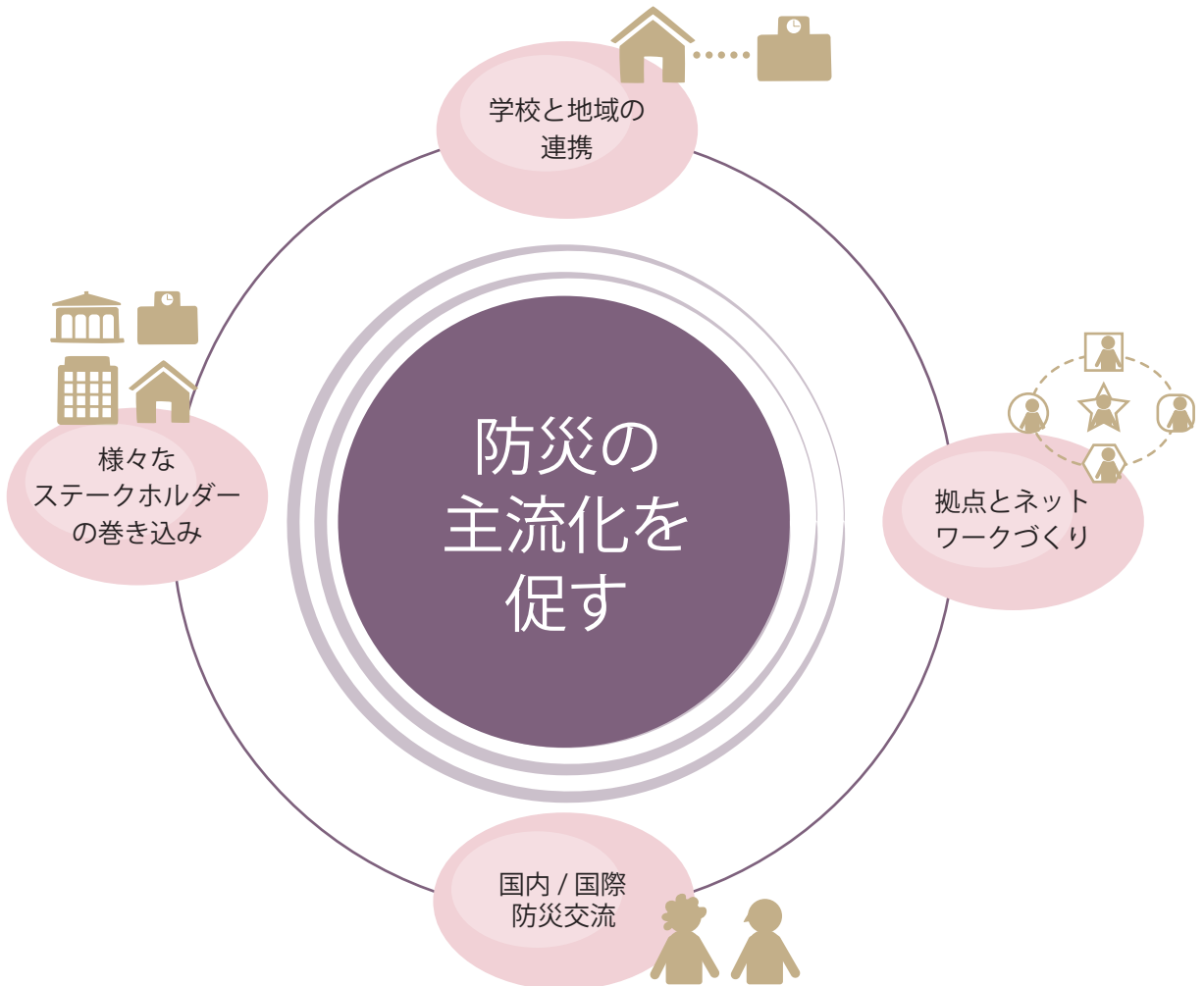


“SEEDS Asia の研修を通じて、防災教育指導の要領を小中学校の教員が習得し、生徒に実践する好機を得ることができました。地球規模の課題である気候変動の授業との関連で、防災教育にも重きを置いて、指導していきたいと思います。”

4) つながりづくり



防災の主流化を促す
つながりづくりを



防災力向上のキーワードは、学校と地域の連携強化です。SEEDS Asia の防災支援では、学校やコミュニティ施設を防災活動の拠点として位置づけ、防災教材や資機材を配備します。そして、その拠点同士、また拠点と他の学校・コミュニティとの交流機会を創出することで、各拠点で実践した防災活動の成果を共有し、波及させます。ベトナムでの防災拠点学校や、ミャンマーでの防災活動センター、インドでのクライメイトスクール*など、各事業地において様々な形で、防災の拠点とネットワークづくりを実現させました。

また、東日本大震災では、多様な主体のつながり（ネットワーク）が、防災・復興の現場で、多様なニーズに対応できるリソース（人・物・金・情報）をもたらしました。例えば、NPO や大学などと協力しながら、被災コミュニティの代表者の交流会を主宰して復興ニーズについて議論する場を設けることで、大学による情報提供やNPO による援助につなげました。自助、共助、公助に加えて、ネットワークによる援助＝N助が、防災力向上において重要なコンセプトです。学校と地域だけでなく、市町村や都道府県、さらには国境を越えて、多様な主体が防災のために交流し、学び合い、協働できるネットワークづくりを行います。



クンジャンゴン防災活動センター開所式
(ミャンマー、2014年9月)



神戸の語り部とフィリピン教育省職員が
災害経験を共有(神戸、2015年6月)



階上小学校5年の自治会長との復興防災
マップづくり(気仙沼、2016年9月)

*クライメイトスクール：気象観測装置と大気汚染観測装置を設置し、その観測データに基づいた気候変動や防災に関する教育を行うモデル学校

受益者の声

“SEEDS Asia について震災まで知らなかったのですが、全くタイムリーな出会いでした。市民防災が良い方向に変わるためのアプローチに SEEDS Asia が常に関わり、アドバイスや支援をしてくれています。これ程心強く、信頼できるパートナーは居ないと思います。”



白井弘さん
気仙沼市自主防災連絡協
議会 会長
(気仙沼、2016年7月)

アルヴィン・クマールさん
バラナシ市内
地域防災協議会会長
(インド、2016年9月)

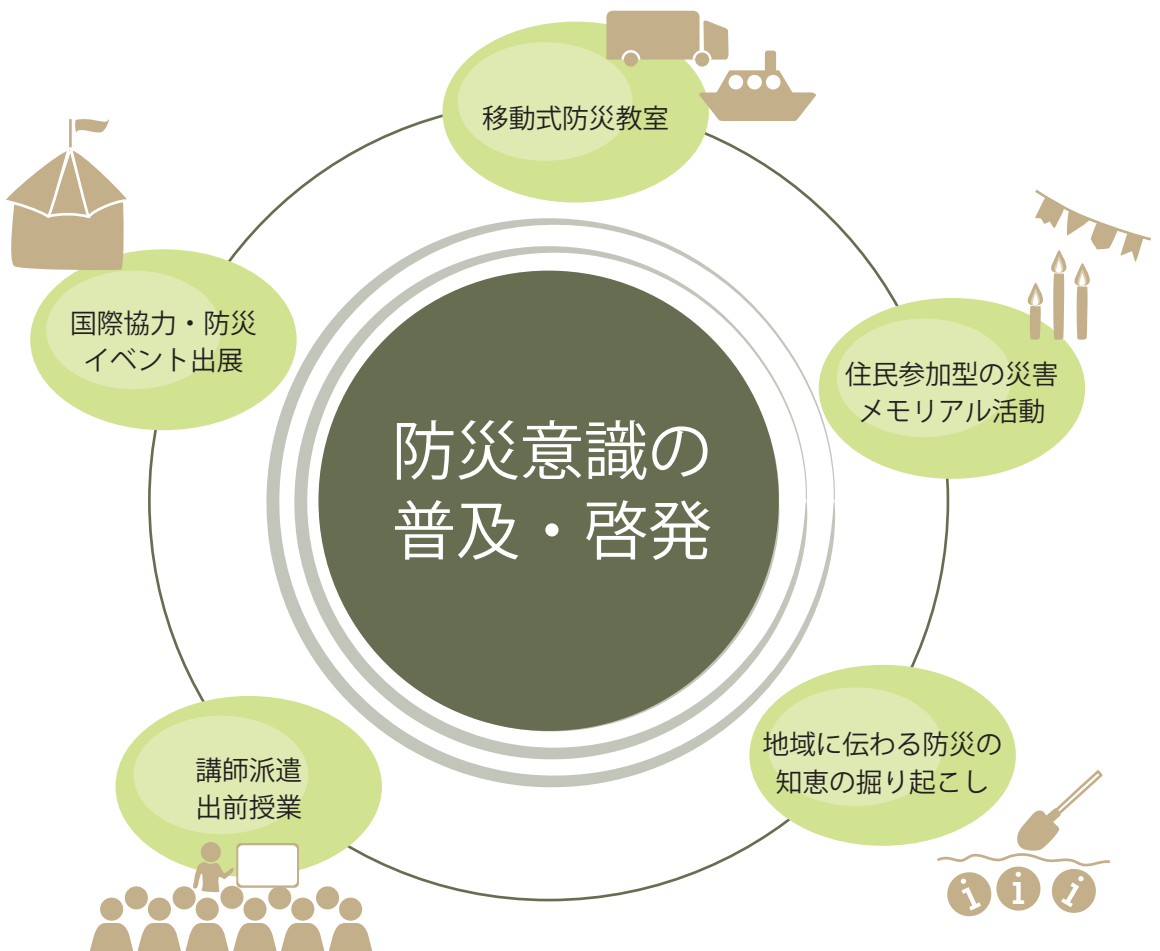


“SEEDS Asia の提案で結成された5地区の地域防災協議会のうち、2016年の洪水被害が最も深刻だった村を視察したことが地域防災について考えるきっかけとなりました。被災と経済状況は相関関係にあり、今後、災害が起きた際には、5地区のクライメイトスクールの子どもたちや、その家族を含む地域社会が食糧を供給するなどの『助け合いネットワーク』を築く必要性を強く感じました。”

5) 普及・啓発活動



災害の教訓を被災地内外でつなぎ、
防災意識の普及・啓発を



神戸に蓄積された災害教訓をアジアへ。これが、神戸を拠点とする SEEDS Asia の活動の原点です。被災地内外で災害教訓を伝えることで、防災意識の普及・啓発を図り、災害から命を守りたい。この想いは今でも変わりません。

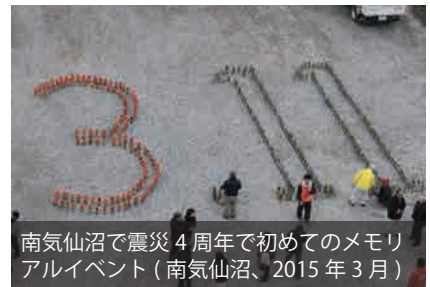
その目玉の1つが、「Reaching the Unreachable(支援の届かないところに届ける)」をコンセプトに、トラックをミニ防災博物館に改造した移動式防災教室(MKRC)です。サイクロンで14万人に及ぶ犠牲が発生したミャンマーで2009年に開発し、これまでに3万5千人を超える人々に防災授業を実施しました。その後、パキスタン、フィリピンでも移動式防災教室を用いた活動を広げています。

また、震災記念誌づくりや追悼行事など、住民参加型のメモリアル活動や、地域に伝わる防災の知恵と郷土芸能を組み合わせた町民劇を実施し、防災文化の醸成を図っています。

さらに、学校や地域、企業への講師派遣による出前授業を実施したり、国際協力・防災イベントに出展したりして、防災意識の啓発に努めています。



トラック型移動式防災教室
(パキスタン、2012年2月)



南気仙沼で震災4周年で初めてのメモリアルイベント(南気仙沼、2015年3月)



ヤンゴン日本商工会と共催で企業向けの災害リスクセミナーを実施
(ミャンマー、2013年3月)

受益者の声

“今まで、災害に対して何もできないと思っていましたが、移動式防災教室で防災を学んだことによって、自分の命、そして家族の命を守る方法があることを知りました。そして自分が災害の備えを実践することで、周りもその重要性に気づき始め、その輪がコミュニティへ、区へ、そして国全体に広がっていきます。移動式防災教室で、防災について学ぶことができて、本当に嬉しいです。”



マ・ヤーミンウーさん
14歳
(ミャンマー、2015年2月)

戸羽芳文さん
唐桑大漁唄込復活推進
実行委員会 事務局長
(気仙沼、2016年12月)



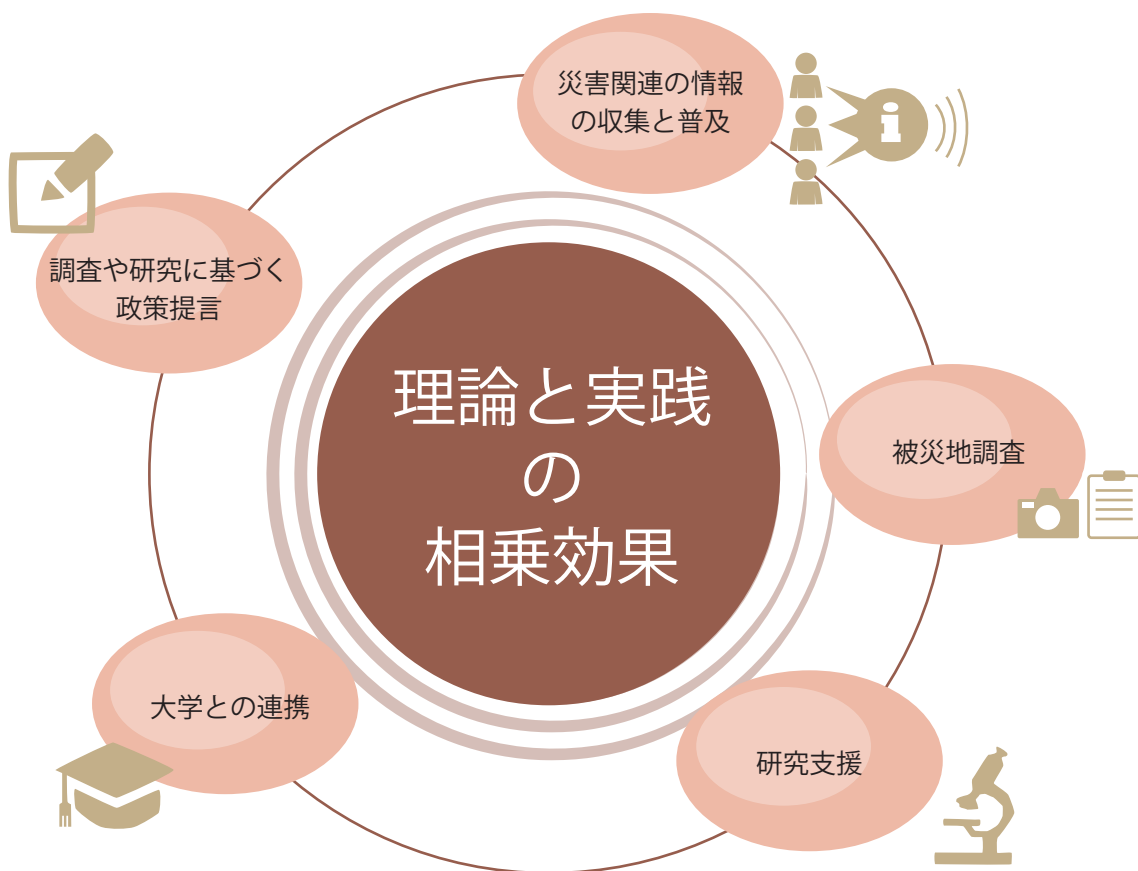
“郷土芸能劇・唐桑ものがたりは、震災後、SEEDS Asiaの栗原さんの脚本・演出により継続しています。自治会防災マップづくりにも深く関わっていただき、栗原さんと共に唐桑の復興が前進しているのだと実感しています。”

コメントは一部 Youtube でもご覧いただけます。
<https://www.youtube.com/watch?v=-7JB4VHFHzQ>

6) 調査・研究・政策提言



理論と実践の相乗効果を生み出し
災害に負けない社会づくりへの
政策提言を



SEEDS Asia は設立以降、日本を含め、アジアの 11 国に及び、活動を展開してきました。それぞれの国の経済力、政治体制、文化は大きく異なり、災害に負けない社会づくりのための優先事項が、法律や制度の確立なのか、インフラを含めた環境の改善なのか、人材の能力強化なのか、あるいは組織間の連携強化なのか、など、各国・場所で大きく変わります。

こうした、各地固有の課題を調査によって「見える化」することは、政策提言へとつながります。SEEDS Asia は支援の対象国政府の協力の下、大学や学会と連携し、災害直後の被災地調査や、復興の過程における地域や学校の防災力(レジリエンス)について学術的な理論やツールを用いて検証し、政策決定者とともに、より効果的で質の高い支援の提供や政策への反映ができるよう取り組んでいます。

また、ミャンマーでは提携大学の若手研究者に研究助成金を提供するなど、研究を実践に活かしていける人材の育成も支援しながら、災害につよい社会づくりに向けた総合的な取り組みや環境整備を促進しています。



気象災害のリスク調査の結果を基に、今後のアクションプランを複数の省庁・局が協同で計画 (ミャンマー、2016年10月)



北ダッカ市で BRAC 大学と共同で都市災害リスク調査 UDRI を実施 (バングラデシュ、2016年8月)



ミャンマー国家防災マネジメント研修センターへの研究図書寄贈 (ミャンマー、2016年2月)

受益者の声

“学校に設置された気象観測装置のデータがウェブサイトに更新され、スマートフォンで自分の住む地域の気象情報をいつでも、どこからでも得られるようになりました。研修を通じて、およその降雨量を視覚でも推測できるようになり、実際に観測器で雨量を確かめるようになったことは、防災への意識が高まった表れだと思います。他の学校や地域社会も是非活用してほしいと思っています。”



ガネーシュ・サハイさん
アーリヤン国際校 校長
(インド、2016年9月)



エーエーカインさん
ヤンゴン工科大学
博士後期課程・研究助成金奨学生
(ミャンマー、2016年5月)

“SEEDS Asia からの研究助成金をいただいて、ミャンマーの巨大デルタ地帯にある 26 区を対象とした湾岸地域の復興力調査を行いました。その分析を基に、各区の行政職員と防災活動計画を策定し、今後の湾岸地域における環境改善を図っていきます。”



気仙沼



3. SEEDS Asia 10年のあゆみ



神戸本部

2006年9月
NPO法人となる

2006年5月
設立

2008年1月
Newsletter 創刊号 (vol. 1) を発行

2009年7月
Newsletter vol. 10 を発行

2011年1月
Newsletter
vol. 20 を発行



<ニュースレター>



パキスタン

2006年5月
震災からの復興に向けた人材育成プロジェクトを実施
(2007年4月まで)



<パキスタン>

パキスタン



モルディブ

2007年11月
沿岸コミュニティの防災
プロジェクトを実施
(2009年5月まで)

2008年7月
防災メディア番組作成のための
人材育成トレーニングを実施
(2009年5月まで)



<モルディブ>



ミャンマー

2008年6月
サイクロン・ナルギスの被災者
支援事業を開始

2009年5月
陸上移動式防災教室 (Mobile Knowledge
Resource Center: MKRC) および水上移動式
防災教室 (Water Knowledge Resource
Center: WKRC) を開発し、学校・コミュニティ
での防災教育事業を展開



インドネシア

2008年10月
ジャワ島中部の地震被災地にて、
学校教員の防災教育実施訓練事業
を実施 (2009年9月まで)

2010年1月
西スマトラ島の地震被災地にて、
学校防災教育事業を実施
(2010年12月まで)



ベトナム

2010年3月
ベトナム中部にて、学校防災教育
事業を開始 (2015年12月まで)

-  本部での取り組み
-  終了した事業地域
-  実施中の事業地域
-  終了した事業
-  実施中の事業



2011年3月
東日本大震災の発生に伴い、被災状況等を取りまとめた Situation Report を配信 (2011年7月の vol.17 の発行まで)

2011年4月
東日本大震災の被害・ニーズ緊急調査を実施、調査結果とともに、緊急アピールを Web にて発信

2011年6月
東日本大震災の被災者支援事業を開始



<熊本>



丹波

2016年4月
防災教育事業を開始



熊本

2016年5月
地震緊急・復興支援を開始

2012年7月
世界防災閣僚会議 in 東北のサイドイベントにてブース出展を行い、事業活動を紹介

2012年12月
JICA 有償勘定技術支援研修「コミュニティ防災」を業務委託にて実施

2015年3月
第3回国連防災世界会議のサイドイベントにてブース出展を行い、事業活動を紹介

2016年11月
JICA 課題別研修「防災主流化の促進」を業務委託にて実施

2012年10月
Newsletter vol. 30 を発行

2014年7月
Newsletter vol. 40 を発行

2016年3月
Newsletter vol. 50 を発行

2016年9月
法人設立から10周年を迎える



フィリピン

2011年5月
移動式防災教室 (Mobile Knowledge Resource Center: MKRC) を開発し、学校・コミュニティでの防災教育事業を実施 (2012年4月まで)



2014年1月
台風ハイエン被災地への緊急支援開始



2015年1月
マカティ市にて、移動式防災教室を開始 (2016年2月まで)

2014年10月
台風ハイエン被災地のセブ州にて防災教育事業を開始



ネパール



2015年4月
地震緊急・復興支援を開始



<フィリピン>



<インド>



インド

2015年10月
バラナシ市にて、防災と気候変動教育事業を開始

2015年8月
大洪水緊急支援を実施

2011年10月
ミャンマー政府職員のための防災に関する本邦研修を実施 (2012年も継続)

2013年9月
防災活動センター事業を開始 (2016年3月まで)

2015年1月
防災研修センター設立運営支援事業を開始

2016年2月
ラプタ区にて、大火災緊急支援を実施



<インドネシア>



<バングラデシュ>



バングラデシュ

2016年4月
北ダッカ市にて、コミュニティ防災事業を開始

2011年8月
ベトナム政府職員のためのコミュニティ防災に関する本邦研修を実施 (2012年も継続)

2017年1月現在、日本国内及びフィリピン、バングラデシュ、ミャンマー、インド、ネパールで活動中

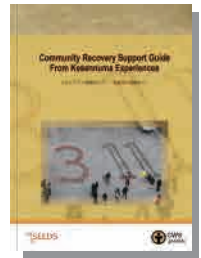
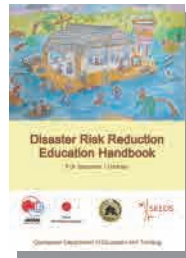
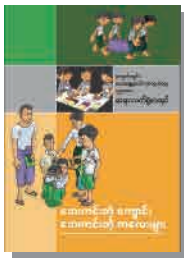
4. 出版物リスト

- SEEDS Asia “Making Disasters Relevant: Voices and Experiences from Varanasi”
Varanasi, India, 2016
- SEEDS Asia “Prahari: For a Safer World” Student newspaper, Vol.1-2, Varanasi, India,
2016
- SEEDS Asia “Guiding note on how to establish DRRAC” Yangon, Myanmar, 2016
- 京都大学、SEEDS Asia 「東日本大震災からの復興：ネットワークを活用した地域連携向
上」, 2016 年
Kyoto University and SEEDS Asia “Recovery Lessons from the East Japan Earthquake
and Tsunami – Network based community development” Osaka, Japan, 2016
- SEEDS Asia 「コミュニティ復興支援ガイド - 気仙沼の経験から - 」, 2016 年
SEEDS Asia “Guidance Note for Community Recovery Support – From Kesenuma
Experiences –” Osaka, Japan, 2016
- SEEDS Asia “Disaster Risk Reduction (DRR) manual – Let’ s build safe community
against natural disaster” Tam Ky, Vietnam, 2015
- SEEDS Asia “Disaster Risk Reduction Education Handbook – for teacher/trainer” Tam Ky,
Vietnam, 2015
- Kyoto University and SEEDS Asia “Tohoku Recovery – the Connectivity (Archive Box)”
Osaka, Japan, 2015
- SEEDS Asia “Safety tips for natural disaster” Cebu, Philippines, 2014
- SEEDS Asia 「防災教育とコミュニティ復興：東日本大震災における SEEDS Asia の気仙
沼での経験 (2011 年度～ 2013 年度)」, 2014 年
SEEDS Asia “DRR Education and Community Recovery – Kesenuma Experiences in
the Great East Japan Earthquake and Tsunami by SEEDS Asia (March 2011- March
2014)” Osaka, Japan, 2014
- SEEDS Asia “Disaster Risk Reduction Education Handbook” Danang, Vietnam, 2013
- SEEDS Asia “Disaster Risk Reduction (DRR) Education Module” Danang, Vietnam, 2013
- SEEDS Asia “Let’s Build Safe Community against Natural Disaster” Danang, Vietnam,
2013

- SEEDS Asia “Let’s Do DRR as ESD” Yangon, Myanmar, 2013
- SEEDS Asia “DRR Note Book” Yangon, Myanmar, 2013•「東日本大震災 気仙沼市でのコミュニティ再生を目指して」 SEEDS Asia SEEDS Asia “Community Recovery of the Great East Japan Earthquake and Tsunami – Kesenuma Experiences” Osaka, Japan, 2012
- SEEDS Asia “Reaching the unreachable: Mobile Knowledge Resource Center, Pakistan” Karachi, Pakistan, 2012
- SEEDS Asia “Disaster Risk Reduction Training Using Mobile (Water) Knowledge Resource Center (MKRC/WKRC): External Evaluation Report” Yangon, Myanmar, 2012
- SEEDS Asia “Community Booklet on Developing a Community based Disaster Risk Management Plan and Organizing Disaster Risk Reduction Activities” Danang, Vietnam, 2011
- SEEDS Asia “DRR Card game of Earthquake, Cyclone, Flood, Tsunami, Thunder lightning, Landslide and Tornado” 2nd edition, Yangon, Myanmar, 2011
- SEEDS Asia “Methodologies of Cyclone Resistant” Yangon, Myanmar, 2010
- SEEDS Asia “Reaching the unreachable – Mobile Knowledge Resource Center and Water Knowledge Resource Center” Yangon, Myanmar, 2010
- SEEDS Asia “Know Disaster, Tell Disaster Risk Reduction – Training Handbook for Media Professionals” Kobe, Japan, 2009
- SEEDS Asia “Let’s Make Schools More Resilient – Handbook on School Disaster Education for Teachers” Yogyakarta, Indonesia, 2009
- SEEDS Asia “DRR Card game of Earthquake, Cyclone, Flood, and Tsunami” Yangon, Myanmar, 2009
- SEEDS Asia “Guiding Note on School as Shelter” Yangon, Myanmar, 2009
- SEEDS Asia “Essentials of Safer Constructions” Yangon, Myanmar, 2009
- SEEDS Asia “Safer School, Safer Children” Yangon, Myanmar, 2009
- SEEDS Asia “Basic of Disaster Safety Tips” Yangon, Myanmar, 2009

動画

- 「気仙沼における ESD / 防災教育の革新：つなぐ - 教訓を次世代へ」 SEEDS Asia、2016 年
SEEDS Asia “Innovations in Education for Sustainable Development and Disaster Risk Deduction in Kesennuma: Lessons towards future generations (movie)”
Kesennuma, Japan, 2016
- 「郷土芸能劇 唐桑ものがたり 海の古道～1300年の旅」 SEEDS Asia、2016 年
- SEEDS India & SEEDS Asia “Reaching the Unreachable in Myanmar, Road to Sendai”
India 2015
- SEEDS Asia “Capacity building for disaster risk reduction at schools and communities in the coastal area of Quangnam Province” ,Vietnam 2015
- SEEDS Asia “Capacity Building for Disaster Risk Reduction in School Education in Central Vietnam” Sep 2011 – Sep 2013, Vietnam 2013
- SEEDS Asia “Reaching the Unreachable” Yangon, Myanmar, 2012



論文・学会誌・寄稿

- Shiwaku, K., Ueda, Y., Oikawa, Y., & Shaw, R. (2016). School disaster resilience assessment in the affected areas of 2011 East Japan earthquake and tsunami. *Natural Hazards*, 82(1), 333-365.
- Ueda, Y., & Shaw, R. (2016). Managing and bridging communities in temporary housing: case of the Great East Japan Earthquake and Tsunami in Kesennuma City, Japan. *Natural Hazards*, 80(1), 567-587.
- Shiwaku, K., Ueda, Y., Oikawa, Y., & Shaw, R. (2016). School disaster resilience assessment: an assessment tool. In *Disaster Resilience of Education Systems* (pp. 105-130). Springer Japan.

- Ueda, Y., Matsumoto, E., Nakagawa, Y., & Shaw, R. (2016). International Cooperation: Grassroots Experience Sharing in Vietnam. In Disaster Resilience of Education Systems (pp. 213-229). Springer Japan.
- Ueda, Y., & Shaw, R. (2015). Community Recovery in Tsunami-Affected Area: Lessons from Minami-Kesennuma. In Tohoku Recovery (pp. 131-146). Springer Japan.
- Ueda, Y., & Shaw, R. (2014). Issues and Challenges in Temporary Housing in Post-3.11 Kesennuma. In Community Practices for Disaster Risk Reduction in Japan (pp. 209-226). Springer Japan.
- Ueda, Y., Shikada, M., Matsumoto, E., Nakagawa, Y., & Shaw, R. (2014). Knowledge, Education and Training for Risk Reduction: Specific Case of Myanmar, Vietnam and Japan. In Civil Society Organization and Disaster Risk Reduction (pp. 135-157). Springer Japan.
- 中川裕子「海外のコミュニティ防災活動の意義」、吉富志津代著『グローバル社会のコミュニティ防災：多文化共生のさきに』、阪大リーブル、pp42-46、2013年
- Shikada, M., et.al. (2012). Reaching the Unreachable: Myanmar Experiences of Community Based Disaster Risk Reduction, Rajib Shaw ed. Community, Environment and Disaster Risk Reduction Vol.10, (pp.185 – 203). Emerald.
- Tsunozaki, E., Nakagawa, Y., Shikada, M., (2011). Role of non-governmental organizations (NGOs) in disaster risk reduction (DRR): a Myanmar' s case, Paper on 13th International Conference on Wind Engineering., Japan.
- Nakagawa, Y., et.al. (2010). Sharing Japanese Non-technical Knowledge for Disaster Risk Reduction in Asia: Challenges for Non-profit Organizations, Asian Journal of Environment and Disaster Management, Vol.2, No.3. (pp. 337-350).

公的機関発行冊子での紹介

- 外務省国際協力局民間援助連携室「国際協力と NGO：外務省と日本の NGO のパートナーシップ」2016年発行（表紙に活動写真掲載）
- 外務省編「2015年版開発協力白書 日本の国際協力」国際協力の現場から 11, p.122, 2016年3月発行
- 外務省編「外交青書 2012(平成24年版)」p. 253, 2012年6月発行
- 外務省国際協力局民間援助連携室「国際協力と NGO：外務省と日本の NGO のパートナーシップ」p.19, 2011年11月発行

5. カウンターパート及び 協力団体のリスト

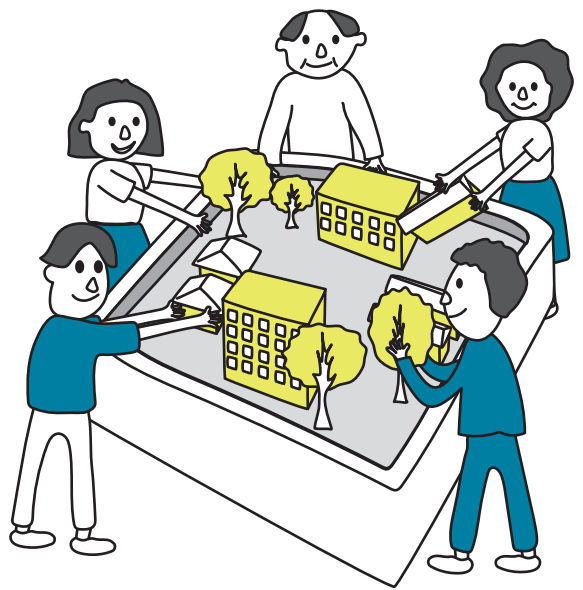
国名	
ミャンマー	ミャンマー工学会 (MES)
	社会福祉復興省・復興救済局 (RRD)
	教育省 (MOE)
	ヤンゴン工科大学 (YTU)
	ダゴン大学 (DU)
	メッタファウンデーション
	ミンガラーミャンマー
	ミャンマー赤十字社 (MRCS)
	ミャンマー能力開発協同コンソーシアム (MCCDDM)
フィリピン	教育省 (DepEd)
	教育省第7 地方事務所 (DepEd RO7)
	市民防衛局 (OCD)
	マカティ市
インド	バラナシヒンドゥ大学 (BHU)
	バラナシ市
ネパール	災害気候変動研究センター (CDCCS)
	ネパール地震技術会 (NSET)
	教育省
バングラデシュ	北ダッカ市
ベトナム	ダナン市教育訓練局 (DOET)
	ダナン工科大学 (DUT)
	クアンナム省教育訓練局 (DOET)
	クアンナム省農業農村開発局 (DOET)
	ベトナム教育訓練省 (MOET)
インドネシア	YAKKUM Emergency Unit (YEU)
	ジョグジャカルタ特別州バンツール県教育局
	サンデン郡教育局
パキスタン	チャーチワールドサービス アジアパシフィック (CWS A/P)
モルディブ	国家防災センター

国名

日本

アクサ生命保険株式会社
 一般社団法人気仙沼復興協会
 一般社団法人ボランティアステーション in 気仙沼
 入谷地区防災教育推進委員会
 Integrated Research on Disaster Risk (IRDR)
 宇城市社会福祉協議会
 特定非営利活動法人エフエムわいわい
 尾鷲市教育委員会
 株式会社 OYO インターナショナル
 唐桑大漁唄込復活推進実行委員会
 京都市立高倉小学校・スマイル 21
 京都大学大学院地球環境学堂
 ケイライントラベル株式会社
 劇団「夢の海」
 気仙沼 NPO/NGO 連絡会
 気仙沼市教育委員会
 気仙沼市自主防災組織連絡協議会
 気仙沼市社会福祉協議会
 気仙沼中央地区自治会連絡協議会
 公益財団法人大阪コミュニティ財団
 公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団
 公益財団法人パナソニック教育財団
 神戸市教育委員会
 神戸市消防局
 特定非営利活動法人国際協力 NGO センター (JANIC)
 国際連合国際防災戦略 (UN-ISDR)
 国際連合人間居住計画 (UN-HABITAT)

国名	
日本	西条市教育委員会
	株式会社シマブンコーポレーション
	社会福祉法人中央共同募金会
	世界風工学会
	ソフトバンク株式会社
	大和ハウス工業株式会社
	丹波市
	特定非営利活動法人 チャーチワールドサービスジャパン (CWS-J)
	特定非営利活動法人 (認定 NPO 法人) ジャパンプラットフォーム
	独立行政法人国際協力機構 (JICA)
	日本基督教団向日町教会
	日本外務省
	日本文部科学省
	公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
	階上地区防災教育推進委員会
	特定非営利活動法人阪神淡路大震災よろず相談室
	日野パックモーターズ株式会社
	兵庫県教育委員会
	兵庫県立舞子高等学校
	フェリシモ 地球村の基金
	富士ゼロックス株式会社
	米国国際開発庁 (USAID)
	防災寺子屋 京都
	三井住友銀行ボランティア基金
	南気仙沼地区 17 行政区の自治会
	南三陸町教育委員会
	ヤマサ醤油株式会社
	United Methodist Committee on Relief (UMCOR)



6. SEEDS Asia の概要

※すべて 2017 年 1 月時点

名称	特定非営利活動法人 SEEDS Asia
所在地	〒658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本 3-11-30-302
電話番号	078-766-9412
FAX 番号	078-766-9413
E-mail	rep@seedsasia.org
ホームページ	http://www.seedsasia.org/
Facebook ページ	https://www.facebook.com/SEEDS-Asia-206338119398923/



SEEDS Asia のホームページは
こちらから
ご覧いただけます

役員名簿

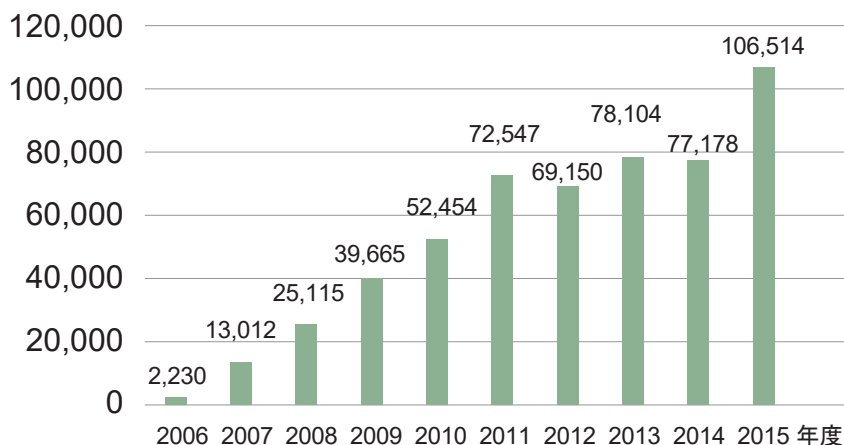
理事長	ショウ ラジブ	Integrated Research on Disaster Risk (IRDR) 所長
副理事長	グプタ マヌ	SEEDS 代表
理事	シャーマ アンシュ	SEEDS Technical Service 代表
理事	角崎 悦子	元アジア防災センター主任研究員
理事	桜井 愛子	東北大学災害科学国際研究所 災害復興実践学分野 / 防災教育国際協働センター 准教授・ 副センター長
理事	及川 幸彦	東京大学海洋アライアンス海洋教育 促進研究センター 主幹研究員
理事	中川 裕子	SEEDS Asia 事務局長 (兼務)
監事	泉 貴子	東北大学災害科学国際研究所 特任准教授 環太平洋大学協会 (APRU) マルチハザードプログラムコーディネーター

7. 数字で見る SEEDS Asia の 10 年

※すべて 2017 年 1 月時点

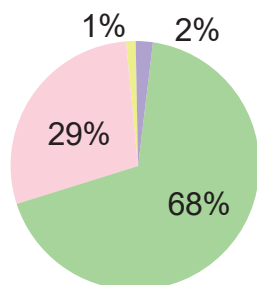
SEEDS Asia の事業規模

経常収入の推移 (千円)



収入内訳

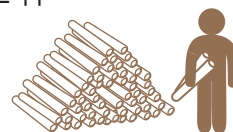
2006 年度—2015 年度 総合計



■ 会費・寄付金 ■ 助成金 ■ 事業収入 ■ その他

事業数：

62 件

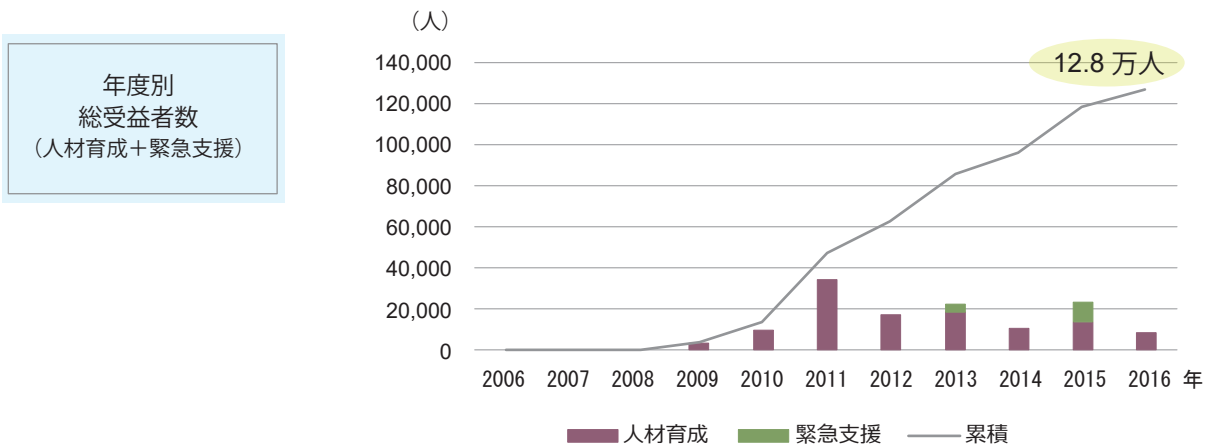
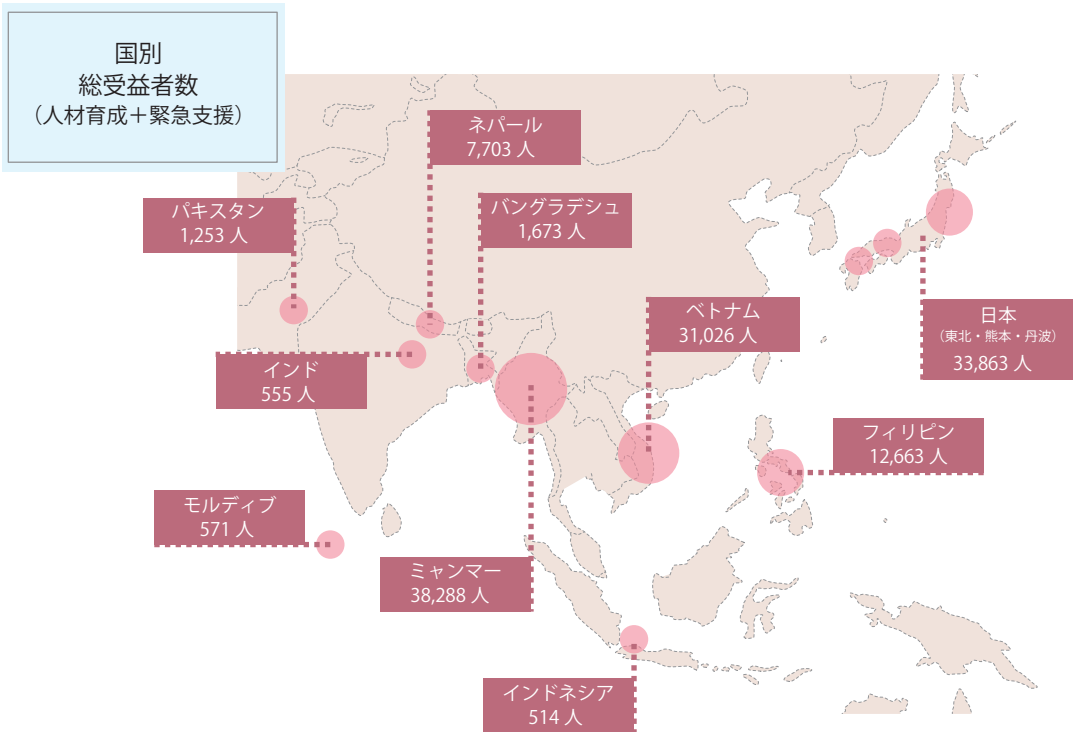


国内イベント：

16 イベント
(セミナー、
活動報告会、
ブース展示)

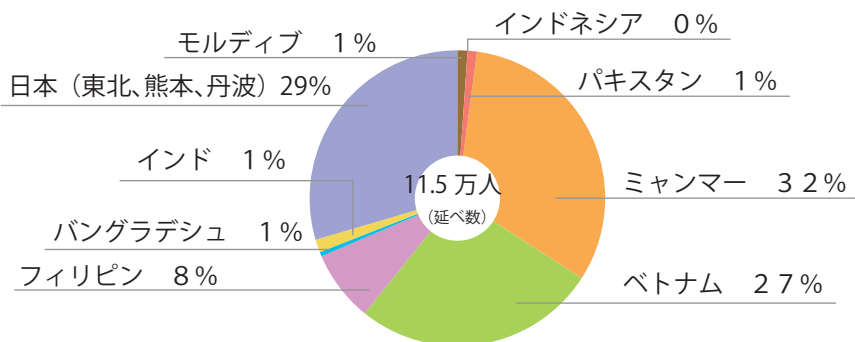


受益者数（人材育成＋緊急支援）

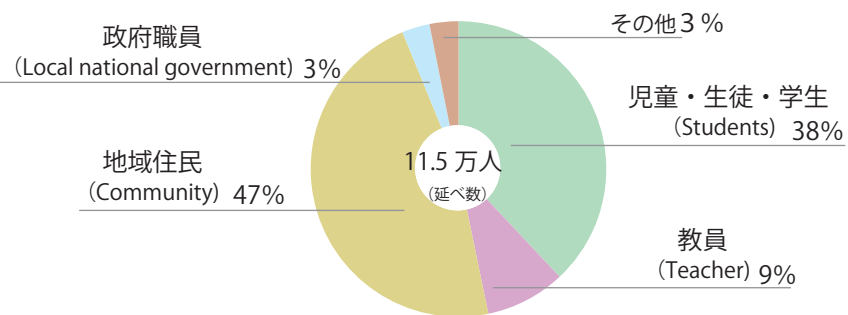


人材育成受益者

国別
人材育成プログラム
受益者の割合

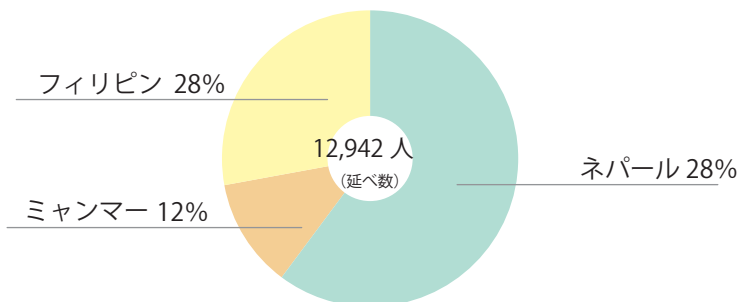


属性別
人材育成プログラム
受益者の割合



緊急支援受益者

国別
緊急支援
受益者の割合



ご支援のお願い アジアの防災を応援しませんか

寄付金は、SEEDS Asia の活動全般へのご支援として、アジア各地での環境・防災支援活動に活用させていただきます。

SEEDS Asia の活動は、皆さまからのご支援によって成り立っています。

- 1) 正会員：年会費 年間 10,000 円 (一口)
- 2) 賛助会員：個人 年間 5,000 円 (一口)
法人 年間 30,000 円 (一口)
- 3) サポーター：年間 3,000 円 (一口)～

- ◆ 指定のプロジェクトや対象国限定での寄付も受け付けております。
- ◆ 領収書の発行が必要な方は、あわせてご連絡をお願いします。

▶ クレジットカード

CANPAN



CANPAN 決済サービス (寄付金を決済するサイト) をご利用いただけます。

*このオンライン決済サービスは、公益活動を実施している NPO 等がご寄付いただく際に安全に受け取りができるよう、日本財団のご支援の下、特定非営利活動法人 CANPAN センターにより提供されているサービスのため、安心してご利用いただけます。



▶ 郵便振込



口座番号：00960-7-207240
口座名義：特定非営利活動法人 SEEDS Asia
< トクヒ) シーズアジア >

▶ 銀行振込



三井住友銀行 岡本支店
口座番号：0571188
口座名義：特定非営利活動法人 SEEDS Asia

▶ スマートフォンをご利用の方

かざして募金



ソフトバンクの「かざして募金」によるお支払も可能です。

また、ソフトバンク以外の方もかざして募金のページからクレジットカードによるお支払が可能です。



*郵便振替や銀行お振込の場合には、お名前・ご住所・お電話番号を、事務局までご連絡いただくようお願い致します。また、事務所への持ち込み、現金書留なども受け付けております。





発行日 2017年1月17日

発行 特定非営利活動法人 SEEDS Asia

〒658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本 3-11-30-302
3-11-30-302, Okamoto, Higashi Nada-ku, Kobe 658-0072, Japan

TEL: +81-(0)-78-766-9412 FAX: +81-(0)-78-766-9413
Email: rep@seedsasia.org URL: www.seedsasia.org

この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 改変禁止 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。

